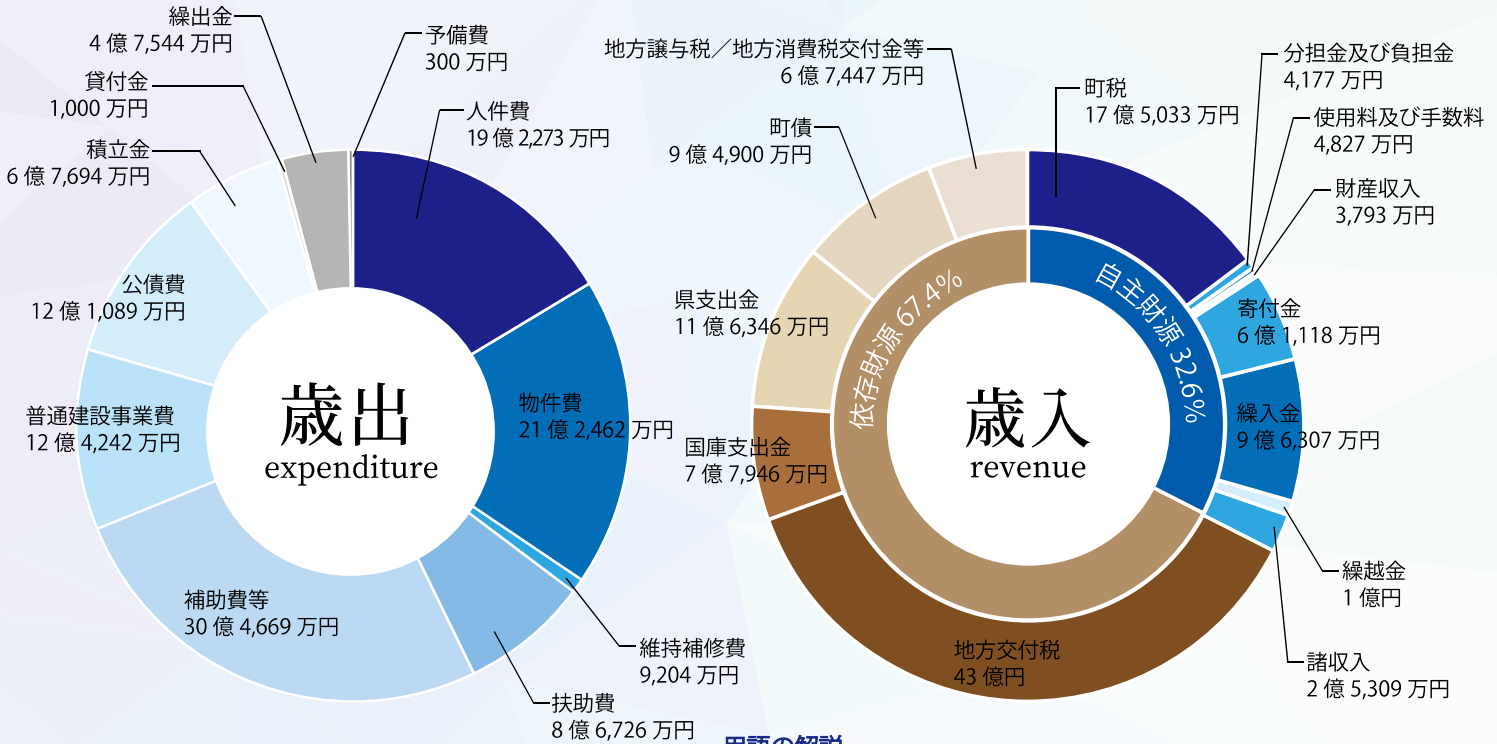


若狭町 令和6年度 当初予算 2024.04 ↓ 2025.03

一般会計 116億 7,203万円

■性質別内訳



用語の解説

- ・自主財源 38億 564万円 (32.6%)
→ 町が自主的に収入できる財源
- ・依存財源 78億 6,639万円 (67.4%)
→ 国や県の基準に基づき交付や割り当てがなされる財源

■行政分野別内訳

分野	予算額	伸び率
議会費	9,515万円	△0.4%
総務費	28億7,609万円	11.3%
民生費	25億1,929万円	2.6%
衛生費	13億7,953万円	1.1%
労働費	1,984万円	0.0%
農林水産業費	5億9,512万円	3.4%
商工費	3億1,892万円	0.6%
土木費	10億3,101万円	△2.7%
消防費	4億2,450万円	5.5%
教育費	11億9,869万円	1.7%
公債費	12億1,089万円	△3.8%
予備費	300万円	0.0%

特別会計 41億8,875万円

分野	予算額	伸び率
国民健康保険特別会計	15億7,656万円	△15.0%
後期高齢者医療特別会計	2億3,965万円	4.5%
直営診療所特別会計	1億2,396万円	14.8%
介護保険特別会計	19億4,124万円	△0.5%
農業者労働災害共済事業特別会計	120万円	△1.8%
町営住宅等特別会計	3,299万円	△0.6%
土地開発事業特別会計	2億7,314万円	122.5%

企業会計 37億5,411万円

分野	予算額	伸び率
水道事業会計	14億3,906万円	21.2%
工業用水道事業会計	4,023万円	△13.8%
下水道事業会計	17億4,063万円	△0.8%
上中診療所事業会計	5億3,418万円	4.7%

※[数値について]

広報紙では、万円単位で表示している関係上、端数が一致しない場合があります。

令和6年度の当初予算が成立しました。

一般会計は116億7,203万円で、前年度に比べて3.2%の増額となっています。また、特別会計は41億8,875万円、企業会計は37億5,411万円を計上しています。一般会計・特別会計・企業会計を合わせた町の予算総額は、196億1,489万円となり、2.6%の増額となります。

解説

町税などの自主財源に乏しく、歳入の多くを地方交付税や国県支出金に依存している状況です。厳しい財政状況の中、今後も歳入規模に見合った歳出を念頭に、持続可能で健全な財政運営を目指します。

財政用語解説! 歳出項目の性質別内訳について

人件費

職員給与や議員・非常勤報酬などの経費



物件費

旅費、需用費、委託料、備品購入費など消費的性質をもつ経費

維持補修費

道路や公共施設など維持補修のための経費



扶助費

社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費

補助費等

町から一部事務組合や各種団体等に対して交付するもので、負担金、補助金、交付金などの経費

普通建設事業費

道路、学校などの公共施設の建設や、用地取得等に要する経費

公債費

町の借金である地方債の元金と利子を支払う経費

積立金

財政運営を計画的にするための基金の積立に要する経費

貸付金

福祉増進や地域振興のためのお金の貸付を行うための経費

繰出金

一般会計から特別会計、企業会計の間で、相互に支出する経費

ご紹介! 令和6年度当初予算の主な事業

町制20周年記念事業

37,000千円

今年は若狭町誕生から節目となる年にあたり、記念事業等を実施します。



次世代定住促進事業

42,115千円

定住の促進とUIターン促進に向けた事業を進める次世代定住促進協議会を支援するとともに、わかさで輝く奨学金変換支援事業や、UIターン移住就職や結婚新生活への支援を行います。

SDGsまちづくり推進事業

40,343千円

【SDGs 集落づくり推進事業】
地域の課題解決に取り組む集落に対し、活動に必要な経費を支援します。
【SDGs 集落イベント活性化支援事業】
コミュニティ活動の活性化を図るため、新たに集落イベントを開催するための経費を支援します。
【SDGs 企業推進事業】
地域の課題解決に取り組む企業に対し、活動に必要な経費を支援します。

スマートエリア開発事業

2,310千円

JR上中駅前の空き家や空き地の再整備に合わせ、インターネット網の構築や防犯カメラなどを搭載した街灯の設置を行い、デジタル技術でエリアの魅力を高めるモデル整備を行います。

小浜線利用促進事業

5,004千円

【北陸新幹線利用助成】
JR小浜線と北陸新幹線を両方利用する方に小浜線の運賃の1/2を補助します。
【北陸新幹線利用出張助成】
JR小浜線と北陸新幹線を往復利用する町内事業所の出張にかかる運賃の1/2を補助します。(上限あり)

マイナンバーカード等活用推進事業

13,292千円

マイナンバーカード等を活用し、諸証明交付申請書に住所及び氏名を自動記載する「書かない窓口」に取り組めます。また、コンビニ交付において、新たに所得証明書及び課税証明書を発行できるよう整備します。

SDGs みんなdeハッピー事業

3,000千円

町公式LINEを活用し、日々の健康づくり活動でポイントを貯めて、子どもたちや地域のために使用できる社会貢献型のデジタルポイント事業を実施します。

若狭町ファンによる「次代の担い手」づくりSDGs応援事業

2,310千円

北陸新幹線開業や大阪万博の開催などによる交流人口の増加を見据え、農業体験などを通して都会の子どもたちへの若狭町の周知活動を行い町への移住・定住につなげます。

観光拠点整備事業

21,282千円

道の駅三方五湖周辺の公共空間への民間活力導入の検討を行い、官民連携の可能性調査と再整備基本計画を策定します。